

平成 28 年度 松山市立子規記念博物館における購入資料の概要 （正岡子規関連資料）

■ 資料の内容と意義

(1) 正岡子規筆「七変人評論 第一編」^{しちへんじんひょうろん} 明治 19 年 1 月 30 日（和綴本、表紙含む全 19 丁）

【概 要】

子規や秋山真之・清水則遠・井林広政ら東京大学予備門の 7 人の友人で、相互に人物評を行った時の記録。全 19 丁、寸法は 250 mm×170 mm（本紙）。明治 38 年 7 月刊の「ホトトギス」で高浜虚子が内容を一部紹介していたが、実物の消息が知られていなかった資料。全文は『子規全集』ほか諸文献には未収録。

(2) 正岡子規筆「桜亭雑誌」^{おうていざっし} 第 6 号 明治 12 年 5 月 29 日（和綴本、表紙含む全 10 丁）

【概 要】

子規が勝山学校時代に編集した回覧雑誌。友人たちの投書作文、なぞかけ等を収録する。子規は「雷雲社」の「社長」^{へんしゅうちょう}「編輯長」「書記」をつとめる。全 10 丁。寸法は 210×135 mm（本紙）。「桜亭雑誌」は第 5 号まではその存在が知られていたが、この第 6 号は『子規全集』ほか諸文献には未収録。

■ 購入した日

平成 28 年 5 月 6 日（金）

■ 購入額

15,000,000 円 ※2 点一括

■ 購入先

個人（東京都在住）

■ 今後の一般公開について

今回の資料は、従来の文献に掲載されておらず、詳細が未解明の部分も含まれています。今後は、調査・研究や整理・保存作業等を進めた上で、平成 29 年度に予定している正岡子規・夏目漱石・柳原極堂の生誕 150 周年記念事業における展示会等で一般公開を行い、その後は常設展や特別展、機関誌等で積極的に公開の機会を設け、永続的な活用を図る予定です。